

対岸諸国(中国・韓国・ロシア)との ビジネス交流の発展をめざして

環日本海定期貨客船航路を利用した対岸諸国とのビジネス交流の現状と可能性について考えます。

日英韓同時通訳

平成 22 年 **12 月 16 日**(木)

15:00 ~ 17:30 (開場 14:30)

米子コンベンションセンター<小ホール>
(米子市末広町 294)

参加無料
定員 300 名

プログラム

基調講演

北東アジア経済圏の地政学的立地

講師 多摩大学経営情報学部 教授 金 美 徳 (キム・ミドク) 氏

1962 年兵庫県生まれ。早稲田大学大学院国際経営学修士・国際関係学博士課程修了。(株)三井物産戦略研究所を経て、現職(現代韓国論、北東アジア論担当)。寺島文庫塾北東アジア研究会幹事。三井物産経営陣・海外店・二木会(グループ社長会)向け戦略レポート 90 本。日経ビジネスオンライン「コリアン・グローバル・カンパニー」などでアジア情報を発信中。2007 年三井グループ・韓国グローバル経営戦略研究委員会委員。2001 年「第 1 回ニューズウィーク懸賞論文“グローバル化と日本”優秀論文賞」。1995 年～1997 年朝鮮民主主義人民共和国金日成総合大学経済学部招聘講師(資本主義経済担当)。講演:寺島実郎監修リレー講座、経済同友会アジア委員会、(社)研究産業協会、北朝鮮経済グローバルフォーラム(ソウル)など。

基調報告

広域圏們江開発計画(GTI)の現状と展望

講師:ルスラン・グリドフ 氏 (GTI 事務局シニアプログラムオフィサー)

GTI 運輸サブプログラム“東海・境港・ウラジオストク航路”について

講師:新井洋史 氏

(GTI 運輸部会エキスパートグループ / 公益財団法人環日本海経済研究所 研究主任)

パネルディスカッション

対岸諸国(中国・韓国・ロシア)とのビジネス交流の発展をめざして

コーディネーター:金 美 徳 氏 (基調講演者)

パネリスト :石田 康雄 氏 (石田商事株式会社 代表取締役社長)

山口一七男 氏 (株式会社一畑トラベルサービス 業務企画部長)

金 権 河 (私・グナ) 氏 (DBS クルーズフェリー株式会社 代表理事)

平井 伸治 氏 (鳥取県知事)

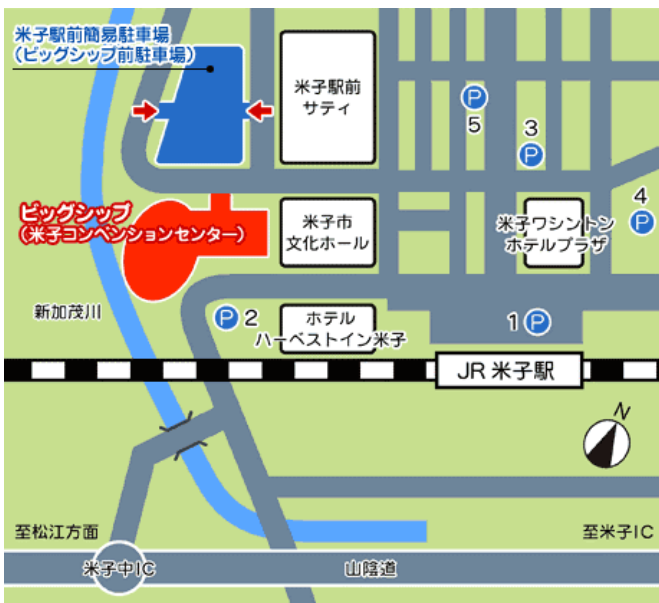
開催趣旨

境港・東海（韓国）・ウラジオストク（ロシア）を結ぶ環日本海定期貨客船航路が平成21年6月に就航し、韓国やロシアへの販路拡大や新たなビジネス展開に取組む県内の企業が増えてきています。また、定期貨客船を利用して鳥取県を訪れる外国人観光客も増加しています。

さらに、本年6月には国連開発計画（UNDP）が支援し、中国、ロシア、モンゴル及び韓国の4か国が協力して取組んでいる広域図們江（ともんこう）開発計画（GTI）の運輸事業サブプログラムに環日本海定期貨客船航路が盛り込まれ、この航路に対する周辺国の関心も高まっています。

このフォーラムでは、対岸諸国（中国・韓国・ロシア）とのビジネス交流の更なる発展をめざして、環日本海定期貨客船航路を利用したビジネス交流の現状と今後の可能性について考えます。

会場



交通アクセス

JR米子駅から徒歩5分
米子空港から車で約25分
山陰自動車道米子中I.Cから車で約5分

駐車場の御案内

米子駅前簡易駐車場（ピックアップ前駐車場）に駐車し、駐車券を会場内設置の割引認証機にお通しください。（ご利用時間内の駐車料金が無料になります。）

駐車場P1～P5は有料駐車場です。（こちらの駐車場ではコンシヨンセンターの利用割引は適用されません。）

駐車場は限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

「北東アジアビジネス交流フォーラム」参加申込書

所属	氏名	連絡先
		電話： FAX：
		電話： FAX：
		電話： FAX：
		電話： FAX：
		電話： FAX：

下記の問い合わせ先に電話、ファクシミリ、メールで12月13日（月）までにお申し込みください。

【問い合わせ先】 鳥取県商工労働部経済通商総室通商物流室
電話：0857-26-7660 ファクシミリ：0857-26-8117
Eメールアドレス：keizaitsumo@pref.tottori.jp